

川越市とオッフェンバッハ市の姉妹都市交流

～青少年交流を核とした40年にわたる継続的な国際交流の取組～

事業 分類	姉妹 都市	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
		行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：埼玉県川越市			海外：ドイツ オッフェンバッハ市		

【事例紹介】

1 交流の概要

川越市とオッフェンバッハ市（ドイツ連邦共和国）は、昭和58年（1983年）8月24日に姉妹都市提携を締結して以来、40年以上にわたり友好関係を築いてきました。

両市は、都市規模や歴史的背景に共通点を持ち、提携当初から「人と人との交流」を基盤とした交流を重ねてきました。

交流の共通コンセプトとして一貫して掲げているのが、青少年交流を通じた国際理解の促進とシビックプライドの醸成です。特に、中学生を対象とした海外派遣事業は、本市の姉妹都市交流の中核事業として30年以上にわたり継続されています。

2 交流の経緯と主な内容

（1）中学生交流団派遣事業

川越市では、昭和62年（1987年）に海外姉妹都市への中学生交流団派遣事業を開始しました。オッフェンバッハ市への派遣は平成6年度（1994年度）から実施されており、これまでに延べ500名を超える中学生が海外姉妹都市を訪問しています。



オッフェンバッハ市でホストファミリーと共に

派遣生は、ホームステイを通じて現地の家庭生活を体験するとともに、学校訪問や同世代の生徒との交流を行い、言語や文化の違いを超えた相互理解を深めてきました。

短期間の滞在ながら「暮らしの中の交流」を重視したプログラムにより、参加者に強い印象と学びを残しています。



ホームステイ先でドイツの伝統的な朝食を体験

(2) 相互交流・市民レベルの交流

オッフエンバッハ市青少年交流団の川越市訪問や、市民号による相互訪問も継続的に実施してきました。

川越まつりへの参加、学校授業の見学、文化体験プログラムなどを通じ、市民レベルの交流が積み重ねられています。

また、川越-オッフエンバッハ両商工会議所は、友好盟約締結 25 周年を昨年迎え、この間ビジネス研修生交換プログラムを継続するなど、青少年交流以外の分野でも交流は広がっています。



オッフエンバッハ市青少年交流団が川越まつりで山車引き体験

3 事業運営体制と継続の工夫

本市の姉妹都市交流は、川越市姉妹都市交流委員会を中心に、市、教育委員会、関係団体が連携して推進しています。

委員会は、関係する市民団体の協力の下、各分野の意見を取り入れながら長年活動を続けており、事業の企画・運営・受入調整等において重要な役割を果たしています。

派遣事業については、事前研修や事後報告会を実施し、単なる海外体験にとどまらず、学びを振り返り次世代へつなげる仕組みを整えています。

4 コロナ禍における新たな取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、海外派遣事業は中止を余儀なくされました。

一方で、交流の歩みを止めることなく、新たな形の取組として以下を実施しました。

- 過去の派遣生を対象としたアンケート調査の実施
- 調査結果を踏まえた「中高生シンポジウム 2021」のオンライン開催
- オッフェンバッハ市 博物館職員のガイドによるオンラインワークショップの開催

シンポジウムでは、オッフェンバッハ市派遣経験者を含む、現在グローバルに活躍する先輩たちが登壇し、国際経験がその後の進路やキャリア形成にどのような影響を与えたかを中高生に向けて発信しました。



中高生シンポジウムのパネリスト

5 交流の成果と評価

派遣生アンケート調査の結果からは、事業の高い効果が明らかになっています。

- 派遣事業を「大変良かった」「良かった」と回答した割合は 99%
- 派遣経験がその後の生活や進路に「影響があった」と答えた割合は 84%
- 派遣後に海外留学や国際的な仕事に就いた参加者も多数確認されています

こうした成果が評価され、川越市と川越市姉妹都市交流委員会は、第17回自治体国際交流表彰（総務大臣賞・2023年）を受賞しました。

審査では、30年以上にわたる継続性、青少年育成を軸とした一貫した取組、過去の参加者の経験を次世代につなぐ仕組みづくりが高く評価されました。

6 節目を活かした発信と今後の展望

市制施行90周年、100周年といった節目においては、姉妹友好都市記念式典やシンポジウムを開催し、交流の成果を市民と共有してきました。

令和4年、コロナ禍での市制施行100周年記念事業では、オッフェンバッハ市をはじめとする姉妹都市首長からのメッセージ発信や、派遣経験者によるシンポジウムを実施し、交流の意義を改めて発信しました。

今後は、対面での交流に加え、オンライン交流の活用なども組み合わせながら、次世代を担う若者が主体的に関われる姉妹都市交流を目指していきます。



100周年記念事業の様子

7 まとめ

川越市とオッフェンバッハ市の姉妹都市交流は、40年以上にわたる継続的な取組を通じて、多くの人材を育み、市民レベルの確かな友好関係を築いてきました。

青少年交流を核とした本市の姉妹都市交流は、今後も形を変えながら、地域の国際化と人づくりに寄与していきます。



（作成年月：2026年4月）

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。